

1 単元名 ふせごう交通事故や盗難事件

2 単元目標

- 交通事故や盗難事件から人々の安全を守る警察署の活動や身の回りの設備に関心をもち、それらを意欲的に追究して、交通事故防止や防犯について自分たちができることに取り組もうとすることができる。 (社会的事象への関心・意欲・態度)
- 地域の人々の安全を守る警察の仕組みや警察官の諸活動について調べ、それらと安全な生活の維持・向上との関連、人々の安全を守ることの大切さについて考え、判断し、適切に文章に書いたり説明したりすることができる。 (社会的な思考・判断・表現)
- 警察や関係諸機関の働きや活動の様子、身の回りの設備を調査し、調べた過程や結果をまとめることができる。 (観察・資料活用の技能)
- 地域の人々の安全を守っている警察署を中心とした関係機関の働きとそこに従事している人々の工夫や努力、願いについて理解することができる。 (社会的事象についての知識・理解)

3 指導上の立場 ～響き合いを成立させるために～

- (1) 児童について ～主に新たな自己との響き合いの充実に向けて～

削除しています。

- (2) 単元について ～主に学習材との響き合いの充実に向けて～

本単元では、交通事故の事例を取り上げ、これらを防ぐためにどんな施設や設備があり、そこで働く人々はどのような工夫や努力をしているのかを調べていくことを通して、地域の安全を守る仕組みについて理解を深め、自分たちの安全への意識を高めることをねらいとしている。交通事故を防ぐ取組については、事故が起きてからの迅速な対応と事故を防ぐための日ごろの取組を資料をもとにして考えさせたい。また、自分たちの通学路を安全を視点に調べたり、近くの交番の警察官の話を聞いたりすることにより、今まで気づけなかった設備の役割、交番の役割、そこに関わる人々の願いに気づくことができるようにさせたい。

(3) 支援の工夫 ～主に学習材、友達、児童と教師との響き合いの充実に向けて～

① 「つかむ・見通す」場での支援の工夫

- ・ 実際の事故やテレビのニュースなどから得ている知識をもとに、知っていることを交流することによって警察の仕事に興味をもつことができるようにする。
- ・ 玉島署管内の交通事故件数の移り変わりのグラフを提示して最近の事故件数の減少に着目させ、事故件数の減少には警察の取組にひみつがあるのではないかと予測ができるようにする。
- ・ 「安全を守る」消防署の役割を振り返り、119番と110番の役割や働く人の人数などに違いはあるかと問い、学習したことをもとに見通しをもって学習に取り組むことができるようにする。
- ・ 浅口市の消防署の位置を記した地図と交番の位置を記した地図を提示し、消防署と比較して交番の数が多いことに着目させ、交番の仕事内容について興味をもつことができるようにする。

② 「調べる・深める」場での支援の工夫

- ・ 通信司令室や交通管制センターを中心とした仕組みをまとめた図や写真を有効に活用し、複雑な連絡体制を十分理解することができるようにする。
- ・ 教科書の資料だけでなく、地域の交通事故によるけが人や死者を表したグラフや事故原因の表を提示することによって交通事故を身近なものに感じることができるようにする。
- ・ 自分の通学路の設備を調べ、設置に至った理由を考えることにより、今まで意識していなかったものにも役割があり、地域の安全を守りたいという人々の願いがあるということに気づくことができるようにする。
- ・ 実際の交番の警察官をゲストティーチャーとして招き、仕事内容について具体的に話を聞いて、事実をもとに考えることができるようにする。
- ・ インタビューを計画したりインタビュー内容をメモしたりするときには、後から資料としても活用できるよう、ワークシートを用意する。
- ・ 資料やインタビューから分かった事象の関連を図や写真、矢印などで分かりやすく板書に示し、社会的事象の意味をとらえやすくする。
- ・ 「安全」の視点をもって話し合うことで、何のための「安全」か、だれのための「安全」かを考えさせ、警察の活動の意味をより深くとらえることができるようにする。
- ・ 話し合いでは、調べて分かったことをまとめるとともに、「標識やガードレールなどの設備は、だれが設置したのだろう」「交番と警察署の役割の違いは何だろう」など、そこから発生した疑問をさらに投げかけることで話し合いが深まるようにする。

③ 「まとめる」場での支援の工夫

- ・ 消防署の学習と同様に、自分たちでできる役割について話し合い、「安全の誓い」を作り、教室に掲示したり交番の警察官に見てもらったりすることにより、学習したことを自分の生活に生かすことができるようにする。

4 単元の構想 (全8時間)

過程	次 時	学 習 活 動	支 援 と 評 価
つ か む ・ 見 通 す	一 ①	○ 警察の仕事について知っていることを話し合ったり、資料を見たりして、学習課題をつくる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">警察の仕事について知っていることを話し合い、調べたいことを決めよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 知っている警察官の仕事を発表させ、警察官の仕事の幅の広さとわたしたちの安全な生活を守るために仕事をしていることに気づくことができるようにする。 ○ 最近の玉島警察署管内の交通事故にかかわる資料を提示する。資料の特徴を読み取り、「なぜ、交通事故は減っているのだろうか」「なぜ、その時間帯に事故が多いのだろうか」など、グラフや表から疑問を見つけ、「交通事故を防ぐ工夫」や「交通事故の原因を取りのぞく取組」に関心をもつことができるようにし、「どうして交通事故は減ってきているのだろうか」という学習課題をつかむことができるようにする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>今までの経験や資料から警察の仕事について意見を発表し合い、警察署や警察官の役割について関心をもって学習の見通しをもつことができる。 「関心・意欲・態度」(発言・ノート)</p> </div>
調 べ る ・ 深 め る	二 ①	○ 交通事故が起きたときの警察の働きを調べる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">交通事故を知らせるしくみを調べよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 消防署の学習を振り返り、交通事故が起こったときはどのようなことが行われるのかを予想することができるようにする。 ○ 通信司令室からの連絡先を空欄にしたワークシートをつくり、連絡先はどこか、そこへ連絡する理由は何かを考えながら図を完成させることができるようにする。 ○ なぜそのような仕組みが必要なのかを問うことにより、消防署同様に迅速な対応が求められていることに気づくことができるようにする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>交通事故が起きたときの緊急に対応する仕組みを資料をもとにして調べ、事故後の迅速な対応について理解することができる。 「知識・理解」(発言・ワークシート)</p> </div>

調
べ
る
・
深
め
る

② ○ 交通事故防止のための取組について調べる。

交通事故を防ぐために警察ではどんなことをしているのだろう。

- 交通管制センターを中心とした取組を、児童が知っていることと関係づけながら写真で提示していき何のための機関や設備なのかを考えさせることによって取組の意味が明確になるようにする。
- 「事故を防止する取組は、交通管制センターや設備だけか」と問いかけ、交通安全週間の取組や学校での交通安全教室などの人に関わる取組にも気づくことができるようにし、運転する側にも運転しない側にも交通事故防止の意識をもってもらえるように努力や工夫をしていることに気がつくことができるようにする。
- 「通学路など、自分たちの身の回りにも交通事故を防ぐための設備があるか」と投げかけ、身近な設備にも着目できるようにする。

警察署では、交通事故防止のためにどんな取組を行っているのか、経験をもとに話し合い分かりやすくまとめることができる。
「技能」(ワークシート)

③ ○ 通学路にある安全のための設備について調べたことをまとめる。
(調査は課外)

通学路には安全のためにどんなくふうがあるのだろう。

- 学校から家までの通学路を簡単に記したワークシートを用意し、見つけた設備を書き込むことができるようにする。
- それぞれの設備が設置された理由を考えさせることにより交通事故や防犯のためにたくさんの工夫があることに気づくことができるようにする。
- 「だれが設置したのだろう」と問いかけることによって、警察の取組と同時に地域の要望も大きくかわっていることに気づくことができるようにし、物だけでなく人の努力によって地域の安全が守られていることをとらえることができるようにする。

通学路にある設備の設置理由や役割などについて考えるとともにその背景にある警察や地域の人々の願いや努力に気づくことができる。
「思考・判断・表現」(発言・ワークシート)

	<p>三 ① ○ 交番の仕事について調べる計画を立てる。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>交番の仕事調べる計画を立てよう。</p> </div> <p>○ 笠岡・浅口地区の消防署の数と交番の数を比較できる地図を提示し、交番の数の多さに着目させることにより交番の仕事に興味をもたせ、「どうしてこんなにたくさん交番があるのだろう」という学習課題をつかむことができるようにする。</p> <p>○ 実際に交番の警察官にインタビューすることを知らせ、疑問を整理してインタビューの計画をたてることのできるようワークシートを用意する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>交番の警察官の仕事を予想してインタビューの内容について考えることができる。 「思考・判断・表現」(発言・ワークシート)</p> </div>
<p>調 べ る ・ 深 め る</p>	<p>② ○ 交番の警察官の仕事についてインタビューする。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>交番の警察官にインタビューして交番の仕事調べよう。</p> </div> <p>○ 予想の時のワークシートをもとに話を聞き、予想と照らし合わせながらメモをとることができるようにする。</p> <p>○ 事前に警察官にインタビューのねらいや児童から出た予想を伝えておき、ねらいに沿った答えをしてもらえるようにしておく。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>計画に沿って警察官にインタビューしたり疑問に思ったことを質問したりしてメモをすることができる。 「技能」(発言・ワークシート)</p> </div>
	<p>③ (本時) ○ インタビューや資料から交番の警察官の仕事について考える。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>交番の警察官は、どんな仕事をしているのだろう。</p> </div> <p>○ インタビューから分かった仕事は何のために行われていることなのかを考えさせることにより、地域の安全や安心を守る仕事であることをつかむことができるようにする。</p> <p>○ 「警察署の仕事との違いは何か」と問うことにより、地域の人々と密接にかかわりながら、より細かく安全を守っていることをとらえることができるようにする。</p>

			<p>インタビューから分かったことをもとにして、交番の警察官が地域の人々の安全なくらしを守るために様々な取組を行っていることを考えることができる。</p> <p>「思考・判断・表現」(発言・ワークシート)</p>
まとめ	四 ①	<p>○ 学習したことをもとに、自分たちができることや気をつけなければならないことについて話し合い、「安全の誓い」にまとめめる。</p>	<p>学習したことを振り返って「安全の誓い」を作ろう。</p> <p>○ 単元を振り返り、分かったことや考えたこと、自分たちが気をつけなければならないことを発表し意見交換することにより、安全への意識向上の必要性やルールを守る大切さなど、自分たちができることを再確認することができるようにする。</p> <p>○ 自分たちで「安全の誓い」を考えることで地域の一員として役割を果たさねばならないという意識をもつことができるようにする。</p> <p>学習を通して分かったことを話し合い、「安全の誓い」を作ることができる。</p> <p>「関心・意欲・態度」(発言・ノート)</p>

5 本時案 (第三次 第3時)

目標	交番の警察官のインタビューから分かったことを話し合い、パトロールや巡回連絡などにより人々の安全を細かく見守る交番の警察官の仕事や願いについて考えることができる。	
過程	学 習 活 動	教 師 の 支 援 と 工 夫
つかむ・見通す	1 本時のめあてを確認する。	○ 前時を振り返ってインタビューの感想を発表し合い、交番の警察官の仕事について話し合うことを確認してめあてにつなげる。
	めあて 交番の警察官は、どんな仕事をしているのだろう。	○ 見学メモを見直しながら、発表したいことを決めるようにする。
	2 交番の警察官の仕事について話し合う。	○ インタビューで分かった交番の警察官の仕事を予想と比較しながら発表させ、交番の警察官の仕事について共通理解できるようにする。

- 仕事を交番特有のものとそうでないものに分けて板書することにより、後で警察署と交番の役割の違いに気づきやすくする。
- 消防署では、「安全・確実・迅速」ということに気をつけて仕事をしたり設備を整えていたりしていたことを想起させ交番の警察官はどんなことに気をつけているか尋ねることにより、仕事の内容について詳しく考えることができるようにする。

〈予想される児童の反応〉

巡回連絡	地域の人が困っていないか確認するため (安心)
道案内	道に迷って困っている人を手助けするため (安心)
銀行や学校巡回	不審な人が来たりルールを守っていない人が来て困っていないか確認するため (安心)
~~~~~	
交通指導	地域で事故がないよう安全に生活できるようにするため
行事の時の警備	たくさんの人で事故が起きないように安全を守るため
落とし物の処理	何かを落としたとき尋ねに来る場所として
交通事故の処理	事故の後の後始末が正しく安全にす早くできるようにするため
盗難の対応	盗難があったときす早く対応するため

3 交番の警察官の仕事の特徴について話し合おう。

- 参考資料として警察の組織図を配布し、警察署にもある仕事が交番の仕事の中にも位置づけられていることに気づかせ組織図と板書を比較させて「警察署と交番のちがいは何だろう」と問いかけることで、交番独自の仕事に着目させ、地域の人々の安心を守ることが交番の大きな特徴であることに気づくことができるようにする。
- 警察署でも交番でも行われている仕事について「これは、玉島の警察署にしてもらえばいいのにな」と揺さぶりをかけることで、交番が地域の人々の安全を守る一番の窓口としての役割を担っていることに気づくことができるようにする。さらに、地域の中に交番があるよさはもうないかを考えさせることによって、事故や事件への迅速な対応が、人々の安心や安全を守ることにつながることに気づくことができるよう

		<p>にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 交番の警察官の仕事や活動の意味を板書をもとに振り返りさらに、交番の場所を示した地図をもう一度提示して「交番がこんなにたくさんある理由がわかったかな」と問いかけ考えさせることにより、地域の人々の安全を様々な取組を通して守っていきたいという交番の警察官の願いに気づくことができるようにする。</li> <li>○ ゲストティーチャーの交番の警察官の話を聞くことにより交番の役割や交番の警察官の願いを確実におさえることができるようにする。さらに、何人かに感想を発表させることにより自分の言葉で考えをまとめることができるようにする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>インタビューをして分かったことをもとにして、交番の警察官が地域の人々の安全な暮らしを守るために様々な取組を行っていることを考えることができる。</p> <p style="text-align: center;">「思考・判断・表現」(発言・ワークシート)</p> </div>
ま と め	<p>4 本時のまとめをする。</p> <p style="text-align: center;">— まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今日の学習で新たに分かったことを板書を手がかりにして自分の言葉で記述することで本時のまとめとする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>交番の警察官は、地域の人々が安心して生活を送ったり安全に生活したりすることができるように、パトロールや巡回連絡などきめ細かく仕事をしている。</p> </div>
る	<p>5 次時の学習を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「警察官は私たちの暮らしの安全を守るために働いているが、私たちができることはないだろうか」と問いかけ、次時の学習へ意識をつなぐことができるようにする。</li> </ul>